

～生業としての農業～

阿部 司さん(今治市(旧伯方町))

今治市青年農業者協議会(伯方支部) 副会長

アスパラガス部会(伯方支部) 副会長

伯方同志会 会長

1977年生まれ



☆経営概況☆

経営規模：柑橘 約150a 露地野菜 約10a

栽培品目：レモン、不知火、愛媛果試第28号、アスパラガスなど

労働力：本人と両親(3人)

☆ここがポイント☆

■就農の経緯

大学卒業後、地元の越智今治農協に就職し、**営農指導員として9年間勤務**していました。実家は、柑橘の専業農家で主に伊予柑を栽培していました。2007年頃から両親の年齢を考え、「**両親が元気なうちに農業を始めた方がいいのでは・・・?**」と思うようになり、**2009年4月に就農**しました。

■露地野菜の導入

就農を機に伊予柑を伐採し、**レモンや有望品種に改植**しました。また、柑橘の未収益期間を補うために、**アスパラガスの栽培(4～9月)**を開始しました。アスパラガスを選んだ理由は、①露地栽培が可能(通常はハウス栽培) ②島内にアスパラ部会(販路確定)があった ③他産地のハウスと露地の端境期に出荷が可能(高単価) ④アスパラガス栽培をやめた農家から出荷調整機や冷蔵庫を譲り受けるなど、多数のメリットがあったからです。

現在は、試験的に約1aのほ場で**収穫作業の軽減と病気の蔓延防止**を目的に「**高畝密植栽培**」にも取り組んでいます(畔板を利用し畝面を約40cm高くする)。今のところ効果は上がっているようです。

アスパラガスの栽培は、将来的には単価の高い**春採り(4～5月)**のみにする計画です。

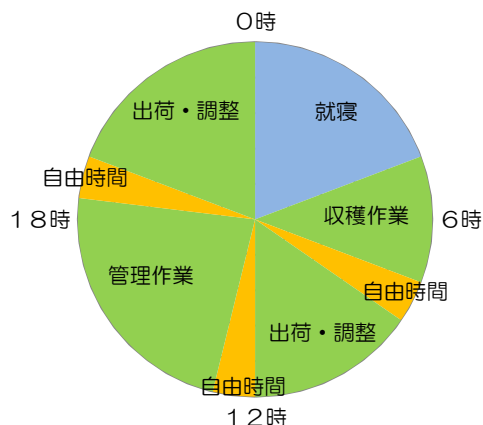


アスパラガスの露地栽培(5月上旬)



青年農業者の仲間と県外視察

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

アスパラガスの栽培期間中（4～9月）はとても忙しく、冬場の作業は柑橘のみになり比較的ゆとりがある等、時期によって生活のリズムは極端に異なります。休日、できる限り、家族と時間を過ごすことを心掛けています。子供が小さいため、買物や動物園等に出かけることが多いです。その時ばかりは、高齢の両親に負担をかけてしまいます。もっばら、自分ひとりの時は、パソコンの前に座っていることが多いです。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】（予定や天候等により休日をとる）						
← 栽培管理・収穫・調整・出荷 →						
【普通期】						
← 栽培管理・収穫等 →					休日	← 栽培管理 →



家族全員で



収穫したスイカを子供がパクリ

☆これからの夢や目指すもの☆

現在は、柑橘と露地野菜の複合経営ですが、春から夏にかけてアスパラガスの管理が中心になるため、柑橘の管理が後回しになっている面を改善し、今後は労働力の不足も考慮しながら柑橘中心の経営に戻していきたいと考えています。また、母親を中心に季節ごとの野菜や果物を作ったり、ジャムやジュースなどの加工品を作ったり、仕事の延長で生活の幅を広げられるのも農業のいいところです。自分で育てた農産物を子供が喜んで食べている姿を見ると励みになります。

☆メッセージ☆

自分の生まれ育った「しまなみ地域」で、現在も、そしてこれから先も家族・両親とともに農業を生業として暮らしていければ、何も言うことはありません。ぜひ、皆さんも一度は「しまなみ海道」に来て、見て、体験してください。